

株式会社ジェイコム湘南

2017年度 放送番組審議会 議事録

2017年度の放送番組審議会は、2018年3月1日(木)に横浜で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

稲岡 輝雄 様	小澤 幸夫 様	久保田 陽彦 様
高見 和恵 様	堀江 敏 様	森田 常夫 様
山田 秀幸 様		

—ご欠席—

堀 由紀子 様	堀口 すみれ子 様
---------	-----------

事業者側から局の現況に加え、J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)、および昨年度の放送番組審議会で審議された内容に対する改善点について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(森田会長による進行)

委員 J:COM チャンネル(各地域独自編成のコミュニティチャンネル)は、毎年、番組のグレードが上がっており、制作方針も多岐に渡り、地域情報、行政情報、そして、今ではエンターテイメントも扱うほどになり、これでは番組制作費がかさんでしまうのではないかと心配している。綺麗、かつ良質な番組制作の追求は、どの程度まで行われるのだろうかと感じている。このままどんどん良くなっていくと、J:COM は中央の放送局のような形でナショナルスポンサーを提供に付けた上で、番組を制作するプロフェッショナルな放送局になっていくかもしれない。

しかし、元々はインフラの整備の方から入って、地域特性を活かした番組、地域ユーザーのために顔が見える番組、そういった番組を作っていこうというのが根底にあると思うので、お洒落で全国的に憧れられる湘南であっても、地域の人がほっとするような番組を制作して欲しい。

一方、J:COM テレビ(全国同一編成のコミュニティチャンネル)では、市長等が出演する番組(「～週刊シティプロモーション～ご当地サタデー♪」)が放送されているが、そのご当地に縁のないタレントがゲストとして登場するケースがあるようだ。全国放送なので著名人を起用する必要があるかもしれないが、紹介する地域に関わりのあるゲストを使って欲しい。

また、今後目指している番組作りは、どのような発展形になるのか?アプリを活用し

た視聴という話もあったが、J:COM独自のオリジナリティを発揮した取り組みがあれば、教えて欲しい。

事業者 まず、地域の方がほっとする番組を最終的に目指さなければならないということは、その通りだと思っている。できるだけ、地域に関わりのある方が番組に出演するように、かつコストをかけずに温かい番組を沢山作れるように、努力していきたい。具体的には、「湘南人図鑑」（湘南で活躍している人との対談番組）は1台のカメラで撮影している。また、「わくわく一年生」（小学一年生に「将来の夢」と「その理由」を聞く番組）のようなコンセプトが大切だと思っている。

次に、今後目指している番組作りについては、アプリを使って色々な場所で視聴できる仕組みを作っているが、やはりケーブルテレビは地域を大事にしなければならない。地上波局との差別化を考えると、キラーコンテンツとしての地域情報番組、さらに顔が見える、ほっとできるような番組を目指していく必要があると考えている。

委員 ここ数年、映像も番組内容も発展しており、嬉しく思っている。コストの問題については、地域メディアとして限られた予算の中でどれだけのパフォーマンスを発揮できるかということになるが、神奈川県ケーブルテレビ協議会と連携して共同番組を制作している点は評価できる。

2020年の東京オリンピックに向けたJ:COMのビジョンを教えて欲しい。江の島がセーリング会場となり、今後、外国の方を含めて多くの方が湘南エリアを訪れることになる。地域メディアとして湘南エリアの良さをさらに幅広く伝えることで、観光や地域発展に寄与できるだろうし、J:COMの存在価値も高まると思う。

事業者 まず、オリンピックの放送実績をつくるため、日本国内での放送権を持つジャパンコンソーシアムから、リオ五輪とピョンチャン五輪の放送権を購入してJ:COMテレビで放送した。2020年の東京オリンピックについては、今後の交渉があり不透明な部分はあるが、願わくば、江の島で開催されるセーリング競技を放送できればと思っている。

一方、地域メディアとしての関わり方としては、セーリングの知名度を高めていきたい。今年は、江の島でセーリングのワールドカップが開催されるので、海外選手の情報を含めてセーリングの啓蒙活動に取り組んでいくことが、結果、2020年のセーリング競技の盛り上げに一役買えるのではないかとと思っている。

委員 オリンピックの放送権を購入するとの話があったが、その効果はどのようなものなのか？放送権の購入よりも、むしろケーブルテレビでしかできないような切り口はないのか！競技の中継や結果の放送は、他のメディアに任せて、街中を歩いているアスリートの素顔を追いかけるようなことをしてはどうか！この提案の理由は、ピョンチャン五輪の直前に菅平高原のゲレンデでアメリカのスノーボード選手が調整していること

を知った市長や地元の方々も驚き、何と名誉なことだと感じたという話があるからだ。オリンピックのメダリスト候補だけでなく、国内の熾烈な戦いをくぐり抜けてきた選手それぞれにドラマがあるはずなので、個々の選手の素顔に迫るといった切り口で番組を作ることもできるだろう。放送権を買うことも大事なことだと思うが、地域メディアならではの選手と地元民の交流のキッカケになるような温かい切り口を期待したい。そうすることにより、コストもかからなくて済むと思う。

事業者 ご提案の切り口についてはまだ取り組めていないので、その切り口で番組制作が可能かどうか検討したい。また、他の切り口も含めて、湘南らしい、地域のメディアらしいオリンピックの取り上げ方を考えたい。

委員 「わくわく一年生」の映像を、取材した小学一年生が二十歳になって迎える成人式で流そうという試みは、とても良いことだ。是非、湘南エリアでも制作して欲しい。子供が出演すれば保護者の方にも見てもらえるだろう。また、藤沢で行われるウォーキングイベントを番組で取り上げて欲しい。

ピョンチャン五輪については、J:COM ならではの競技選定がなされており、楽しませてもらった。2020 年東京オリンピックでセーリングの会場となる江の島は、選手にとってメジャーかつ慣れ親しんだエリアである。是非、一緒になって東京オリンピックを盛り上げていきたい。

事業者 「わくわく一年生」については、湘南エリアでも制作できるよう努力したい。一方、ウォーキングイベントは取材し放送させてもらう。

委員 スポーツコンテンツが多くなり、楽しみにしている。子供たちのプレーが放送されれば、本人だけでなく、おじいちゃんやおばあちゃんにも見てもらえるだろう。茅ヶ崎市では、毎年度、成績優秀なスポーツ選手を表彰する「スポーツ人のつどい」を開催しており、今年度は柔道とシンクロナイズドスイミングの選手を表彰する。二人は 2020 年東京オリンピックの候補選手になる可能性がある。各エリアに有望な選手がいるので、今から彼等取材、かつ応援し、2020 年東京オリンピックの盛り上げにつなげて欲しい。

事業者 是非、その表彰式取材させて頂きたい。色々なエリアで活躍している有望選手ということになると、例えば野球なら、弊社は少年野球の映像を持っている。番組で紹介した選手がオリンピックや世界選手権に出場したり、大リーグ選手になったりする可能性がある。少年スポーツや青少年の活動取材する一つの目的にもなっている。2020 年東京オリンピックに向けて有望選手の取材を広げていきたい。

委員 ピョンチャン五輪ではカーリング女子が大変な人気になった。実はJ:COMでもカーリングを放送していたが、日本チームの試合を放送しなかったので視聴した人はほとんどいなかったのではないかと？日本チームが出ない競技にお金を使うより、違う所に使うべきだろう！

同じようなことで、J:COMチャンネルの編成方針として「地域イベント・地域スポーツ・地域音楽等を特別番組として増産！」と謳っているが、地上波局で音楽番組が減っている中、地域音楽番組にお金をつぎ込む必要があるのかと考えてしまう。湘南で音楽というとハワイアン的なイメージがあるが、どれだけの需要があるのか？そのイメージを絶やさないために音楽番組を制作すべきと考えているのか？

また、学童野球を放送しているが、選手の保護者以外にどれだけの人が視聴しているのか？保護者以外の人の視聴に耐えうる内容にするには、この大会からこんな有名な選手が巣立っていったというような情報が必要になるだろう。例えば、神奈川県の中核硬式野球チームを対象にした「DeNA ベイスターズカップ」が開催されており、この大会の上位チームの選手はプロ野球のドラフトにかかるような高校に入学する。従って、この大会を番組化できれば、有名選手を中学時代から追いかけていたということになり、面白い展望を描けるのではないかと！

ジェイコム湘南が地域密着を第一に考えているのであれば、地域の人々が喜ぶ番組を制作して欲しい。

事業者 番組制作については取捨選択していきたい。番組制作能力がまだまだ未熟な上に、制作対象を広げ過ぎているかもしれないので、改めてゼロベースで考えたい。そして、考える際には、ご助言頂いた「地域」という軸をしっかりと置くようにしたい。「DeNA ベイスターズカップ」の番組化については、横浜 DeNA ベイスターズ様のお考えもあり、可能かどうか分からないが、環境が整えばチャレンジしてみたい。

事業者 本日は、皆様から温かいご意見、並びに厳しいご意見やご要望も頂き、ありがとうございました。ケーブルテレビをよくご覧頂いており、嬉しく思っている。皆様からのご意見やご要望をしっかりと心に刻み、番組作りに邁進していきたい。

以上